

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02040306	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	敬老金支給事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ		
		作成責任者職氏名	課長 尾谷義彦	内線	340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	02健康・福祉	04高齢者福祉の推進	03介護予防・生活支援サービスの提供		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村高齢者に対する祝金等支給要綱 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>高齢者に対し、祝金を支給し敬意を表し、あわせてその福祉を増進することを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>祝い金の支給</p>	<p>村内に引き続き3か月居住している100歳に到達した者</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>高齢者に対し、祝金を支給し敬意を表することで、健康意識が高まり福祉の増進につながる。</p>	<p>個人給付金の廃止により、高齢者給付金(お祝い金)事業を年々廃止しているが、現在100歳到達者のみ給付が残っている。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費						
		22 年度 実績	23 年度		24 年度 事業費(見込)	25 年度 事業費(見込)
			事業費(予算)	実績(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		100	102	0	200	200
財 源 内 訳	国庫支出金					
	府支出金					
	分担金・負担金					
	使用料・手数料					
	起債					
	その他の特財					
	一般財源	100	102	0	200	200
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)			0.00	0.08	0.08
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	0	0	0	516	516
総コスト費(千円)(A+C)		100	102	0	716	716
人口あたりコスト(円)		16	17	0	116	116

(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度 目標値	25 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	100歳到達者	人	1	0	0%	2	2
②	目標指標							
③	目標指標							

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	高齢者に対し祝金を支給し敬意を表し、あわせてその福祉を増進することを目的とする。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	祝金を支給し敬意を表すことで、長寿への意識が高まり福祉の増進につながる。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	100歳到達者のみ対象のため、少数により比較的効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	100歳到達者のみ給付となっている。

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) 13 / 16 81% (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
0%	81%	41%	d
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
平成22年度から対象を100歳到達者のみに見直したため、当面、現状維持とする。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
敬老祝い金事業については、平成22年度から支給内容を見直したところであるため、当面現状維持とするが、近隣市町の動向など今後、あり方を検討する。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
	/	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
敬老祝い金事業については、平成22年度から支給内容を見直したところであるため、当面現状維持とする。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

持とするが、近隣市町の動向など今後、あり方を検討する。

U
D: 縮小
E: 休止・廃止

(2/2)